

# 市内遺跡 2017

平成 29 年度小諸市内遺跡発掘調査報告書

2023. 3

小諸市教育委員会



## 例 言

- 1 本書は長野県小諸市に所在する埋蔵文化財包蔵地内で平成 29 年度に実施した、各種開発事業を原因とする発掘調査報告書である。
- 2 調査は国宝重要文化財等保存整備費補助金を受けて小諸市教育委員会事務局生涯学習課が実施した。
- 3 調査にかかる組織は次のとおりである。

教育長	小林 秀夫			
教育次長	清水 茂夫			
生涯学習課長	柳澤 学			
生涯学習係長	安藤 貴正			
生涯学習係	高橋 陽一	山東 丈洋	高見澤 菜乃	
調査作業員	星野 保彦	大和田 誠	後藤 元良	後藤 暁子
	伊藤 登造	飯田 喜美江	松澤 晃一	大井 和幸
- 4 調査は高橋陽一（生涯学習課文化財保護担当）が担当した。
- 5 本書の執筆・編集は高橋陽一、井出勇介が実施した。
- 6 調査に関する資料は、小諸市教育委員会の責任下に保管している。
- 7 調査にあたり、長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課、長野県埋蔵文化財センター櫻井秀雄氏からご指導、ご助言を頂いた。また、施工主や地域の方々には日程調整や発掘調査の承諾等でご協力を頂いた。記して深く感謝する次第である。

## 凡 例

- 1 挿図中の略記号は、Tr＝トレンチ、SB＝住居址、SK＝土坑を表す。
- 2 挿図中におけるスクリーントーンは下記のとおりである。

	: 住居址 (SB)		: 土坑 (SK)
---	------------	---	-----------
- 3 土層の色調は、『新版 標準土色帖』（1990 年版）に準拠している。

## 目 次

調査遺跡位置表示	1
宮ノ反A遺跡群塚ノ前遺跡	2
菱形城跡	3
一杯水古墳群	4
鎌田原遺跡群	7
宮崎城跡	8
宮沢道下遺跡	9
小諸城跡①	10
小諸城跡②	12
深沢遺跡群①	13
深沢遺跡群②	14
西城遺跡	16
谷地原遺跡群	17
中尾根遺跡	18
柏木原遺跡群①	19
柏木原遺跡群②	20
柏木原遺跡群③	21
菱形城跡①	22
菱形城跡②	23
平原城跡①	24
平原城跡②	25
平原城跡③	26
野岸遺跡	27
矢田頭遺跡	28
和田原A遺跡	29
和田原遺跡群	30

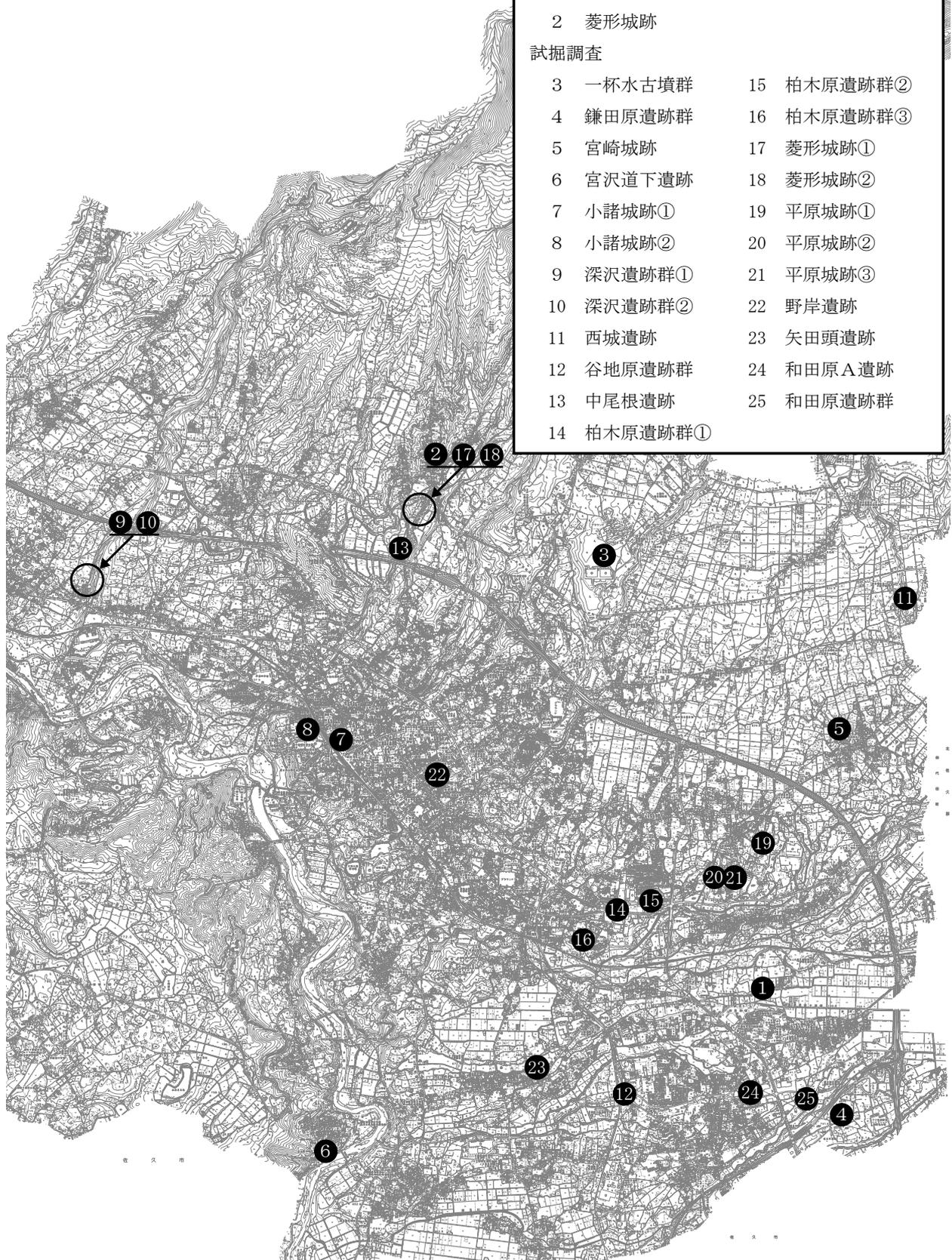
調査遺跡位置表示 1 : 50,000

本調査

- 1 宮ノ反A遺跡群塚ノ前遺跡
- 2 菱形城跡

試掘調査

- 3 一杯水古墳群
- 4 鎌田原遺跡群
- 5 宮崎城跡
- 6 宮沢道下遺跡
- 7 小諸城跡①
- 8 小諸城跡②
- 9 深沢遺跡群①
- 10 深沢遺跡群②
- 11 西城遺跡
- 12 谷地原遺跡群
- 13 中尾根遺跡
- 14 柏木原遺跡群①
- 15 柏木原遺跡群②
- 16 柏木原遺跡群③
- 17 菱形城跡①
- 18 菱形城跡②
- 19 平原城跡①
- 20 平原城跡②
- 21 平原城跡③
- 22 野岸遺跡
- 23 矢田頭遺跡
- 24 和田原A遺跡
- 25 和田原遺跡群



本調査

# 宮ノ反A遺跡群塚ノ前遺跡

所在地 小諸市大字御影新田 1342-7

事業概要 個人住宅建設

開発者 個人

調査期間 平成 29 年 2 月 16 日～2 月 23 日

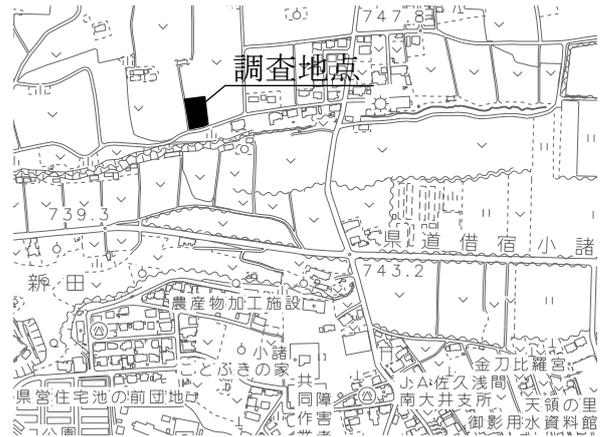
調査範囲 1.98 m<sup>2</sup>

検出遺構 なし

出土遺物 なし

## 調査所見

個人住宅浄化槽を対象に調査を実施した。耕作土を 40cm 程度除去したところで、褐色土の落ち込みが検出されたため本調査に切り替えた。しかしこれは、後世の畑利用等によって生じた攪乱と思われ、遺物もなく遺構と判断できなかった。



位置図 1:10,000



全体図 1:500



全体写真 (南西より)



掘り込み (北より)

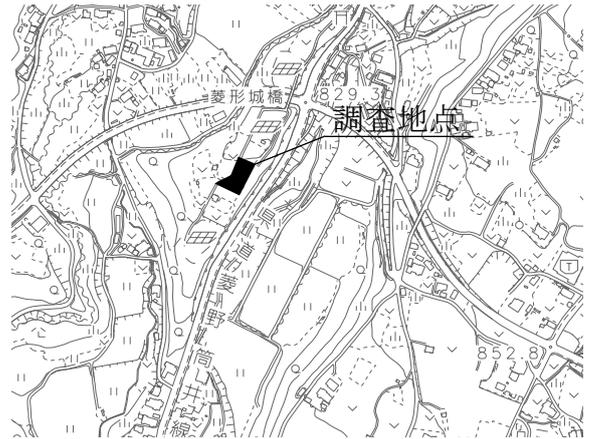


北壁断面

本調査

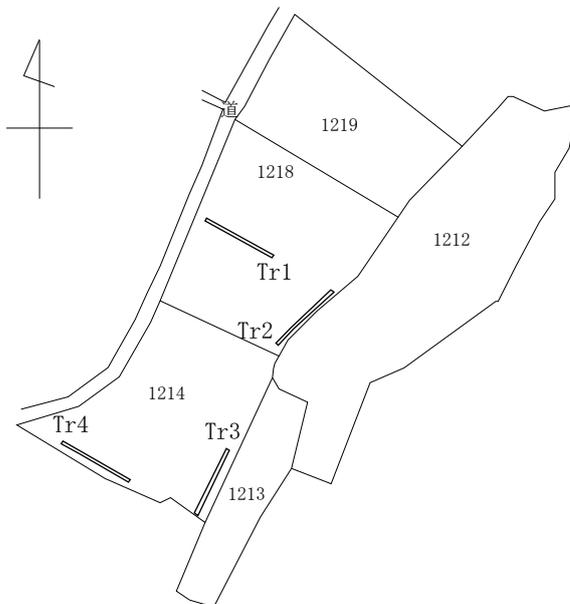
# 菱形城跡

- 所在地 小諸市大字菱平 1214、1218  
事業概要 太陽光発電設備設置  
開発者 株式会社クラカンエコライフ  
調査期間 平成 29 年 11 月 21 日～11 月 24 日  
調査面積 20 m<sup>2</sup>  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし  
調査所見



位置図 1:10,000

太陽光発電設備に付属する浸透側溝掘削面の確認を行う。溝の幅及び深さは 50cm 程度で、層序は暗褐色の耕作土 1 層のみ。耕作土の下まで掘削は達しておらず、また耕作土中に遺構、遺物は確認されなかった。



全体図 1:1,000



トレンチ 2 (南より)



トレンチ 3 (北より)



トレンチ 1 (東より)



トレンチ 4 (東より)

## 試掘調査

# 一杯水古墳群(1号墳、2号墳)

所在地 小諸市甲 4597-1、4595-31

事業概要 駐車場整備

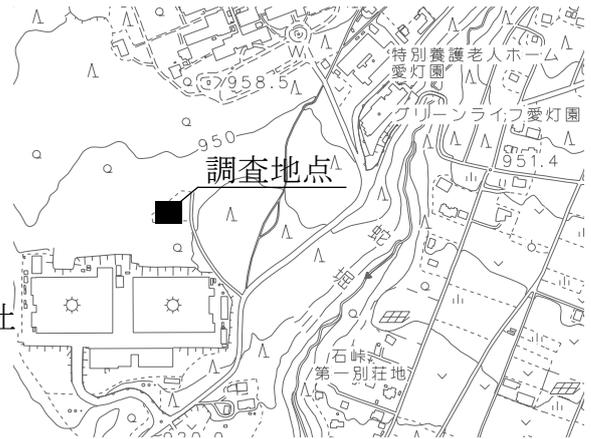
開発者 日精エー・エス・ビー機械株式会社

調査期間 平成 29 年 3 月 29 日～4 月 28 日

調査面積 6.84 m<sup>2</sup>

検出遺構 周溝、外護列石

出土遺物 土師器、須恵器



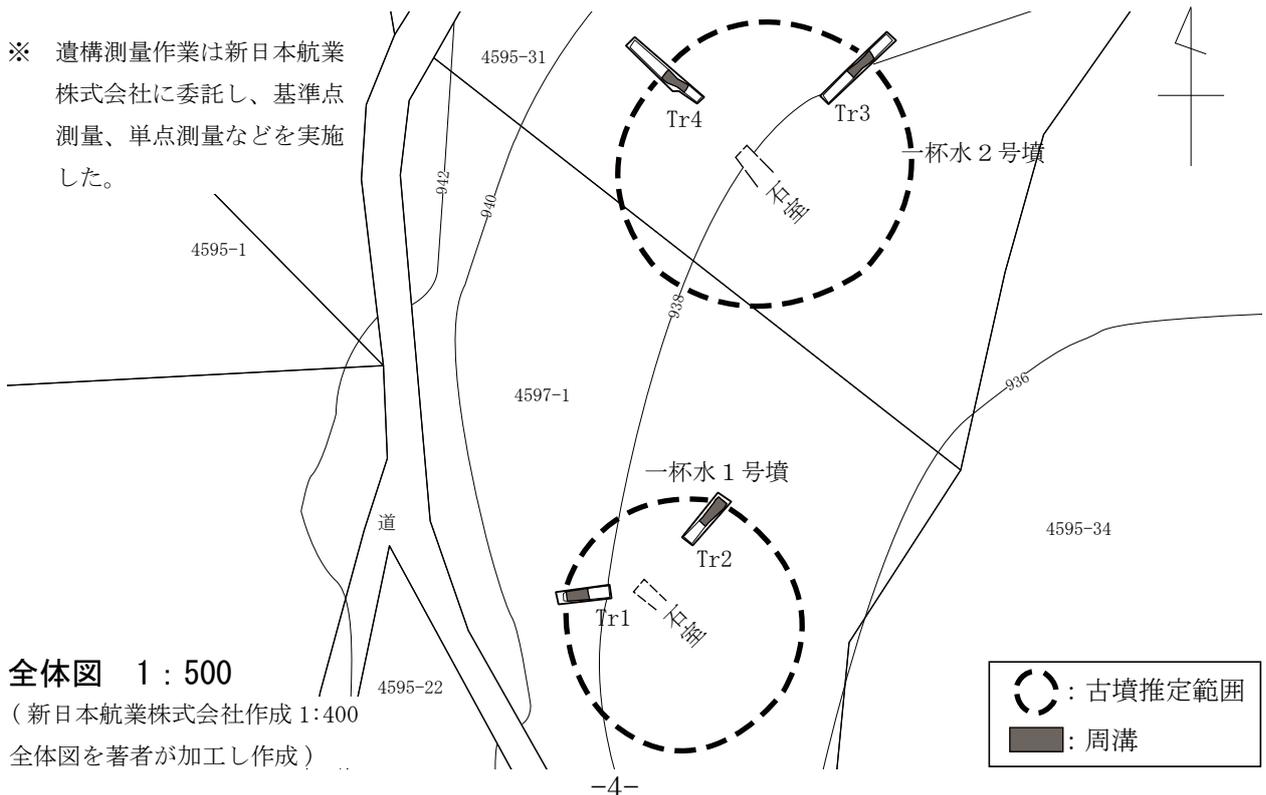
位置図 1:10,000

## 調査所見

古墳が存する地籍で駐車場整備が計画されたが、古墳に影響を及ぼさない場所を開発することで協議がまとまり、範囲確認調査に着手した。

各古墳、2本のトレンチを設定して人力により掘り下げ、それぞれのトレンチで周溝を確認した。確認面までは現況地表面より 50cm から 70cm 下である。また、トレンチ 1 で遺存状態が良好な外護列石が検出された。地表下の観察で判断した墳丘の規模は 1 号墳が直径 12m、2 号墳が 12.8m、周溝も含む外周は、1 号墳が直径 16.4m、2 号墳が 18m である。遺物はトレンチ 2 で須恵器破片、トレンチ 4 で須恵器破片と、土師器破片が出土している。なお、土師器片は周溝内である。時代はいずれも 7 世紀所産である。

※ 遺構測量作業は新日本航業株式会社に委託し、基準点測量、単点測量などを実施した。



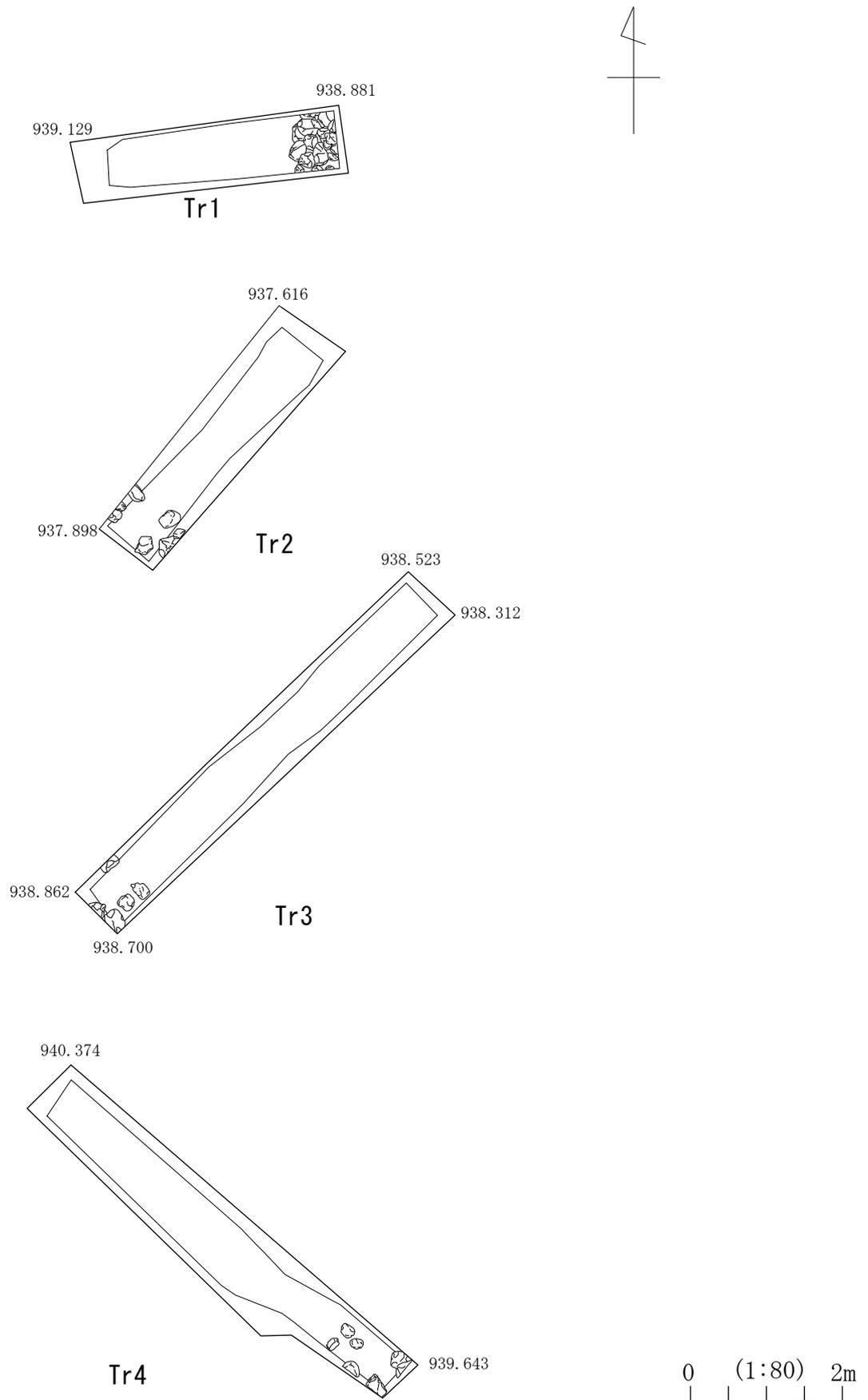
全体図 1:500

(新日本航業株式会社作成 1:400

全体図を著者が加工し作成)

# 平面図 1 : 80

(新日本航業株式会社作成 1:20 トレンチ単点図を著者が加工し作成)





一杯水1号墳（南より）



トレンチ1（西より）



トレンチ1 検出外護列石



トレンチ2（北より）



一杯水2号墳（東より）



トレンチ3（北より）



トレンチ4（西より）



トレンチ4 検出周溝

## 試掘調査

# 鎌田原遺跡群

所在地 小諸市大字御影新田 206-1、207-4、  
207-5、208-1

事業概要 仮設宿舎建設

開発者 株式会社大林組

調査期間 平成 29 年 4 月 24 日～4 月 25 日

調査面積 38.5 m<sup>2</sup>

検出遺構 なし

出土遺物 なし

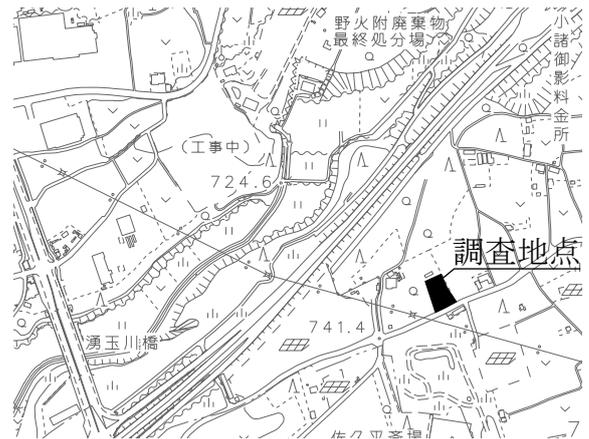
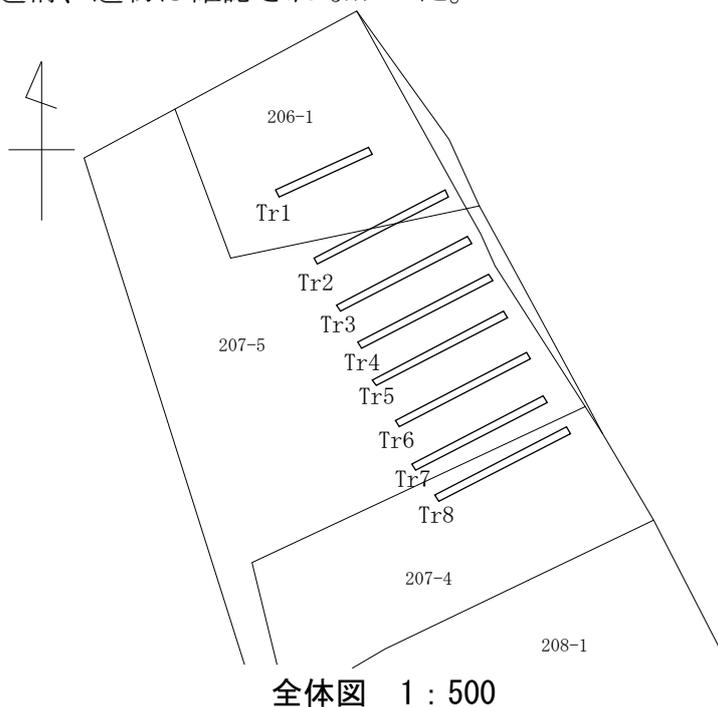
## 調査所見

建物計画位置にトレンチを 8 本設定し、確認調査を実施する。

浅間軽石流堆積層の頂部を遺構確認面に設定し、重機により掘削を行う。

北西から南東にかけて表土の堆積が厚くなっており、遺構確認面まで浅い場所で 20cm、深い場所では 1 m を測る。隣地所有者の話によれば、当該調査区東側に丘がありこれを削平し、発生した土砂を南東側に動かした経過があるとのこと。

遺構、遺物は確認されなかった。



トレンチ 1 (西より)



トレンチ 2 (西より)



トレンチ 4 (西より)



トレンチ 8 (西より)

## 試掘調査

# 宮崎城跡

所在地 小諸市大字八満 1752、1753

事業概要 太陽光発電設備設置

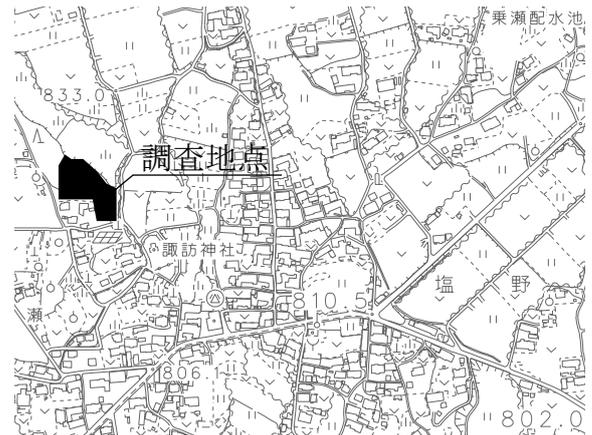
開発者 株式会社エコ革

調査期間 平成30年3月27日

調査面積 80.6 m<sup>2</sup>

検出遺構 なし

出土遺物 なし



位置図 1:10,000

## 調査所見

太陽光発電設備に付属する浸透側溝の掘削に伴い、試掘確認調査を実施した。林野を切り開いた場所のため樹根の攪乱が著しい状況であった。現況地表面より40cmから50cm下で浅間第2軽石流堆積層が確認され、本層上面で遺構検出作業を行ったが、確認できなかった。遺物についても発見されなかった。



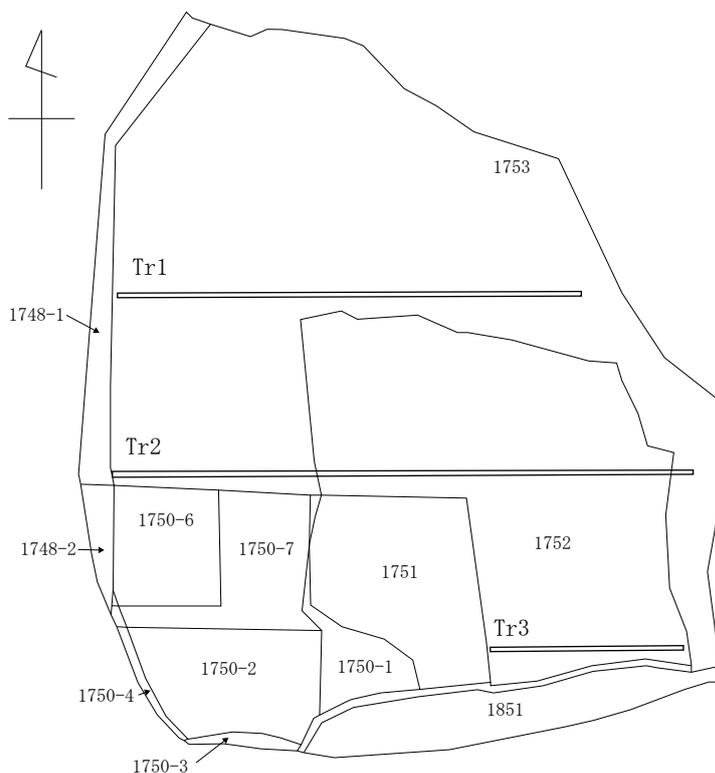
トレンチ 1



トレンチ 2



トレンチ 3



全体図 1:1,000

## 試掘調査

# 宮沢道下遺跡

所在地 小諸市大字山浦 43-1

事業概要 太陽光発電設備設置

開発者 株式会社野村屋

調査期間 平成 30 年 3 月 9 日

調査面積 19.45 m<sup>2</sup>

検出遺構 なし

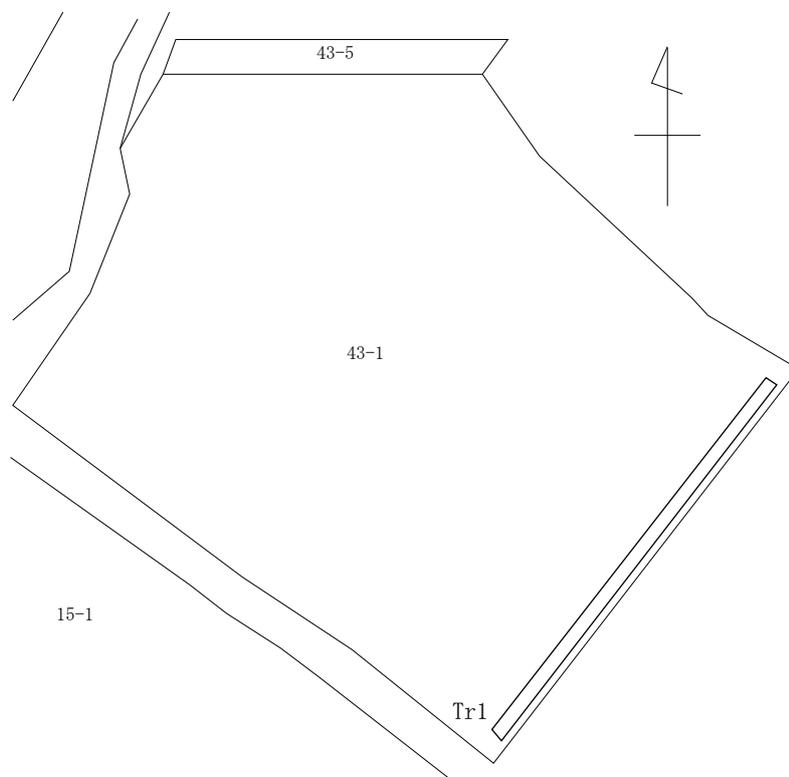
出土遺物 なし



位置図 1:10,000

## 調査所見

太陽光発電設備に付属する浸透側溝の掘削に合わせて試掘調査を実施する。10cm 程度の耕作土の下に黒褐色 (7.5YR3/2) の土が堆積していた。本層は雪の影響もあるだろうが水気を含み、粘性が強い土であった。計画深度の 50cm に達したところで掘削を中止し、遺構の検出作業を実施したが、確認できなかった。また、遺物も確認できなかった。



全体図 1:500



トレンチ掘削状況



断面

## 試掘調査

# 小諸城跡①

所在地 小諸市大手一丁目 305-3、305-4、  
308-2、308-3、308-5

事業概要 駐車場整備

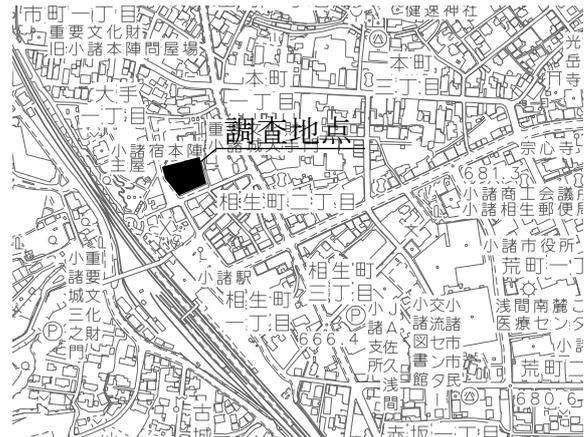
開発者 小諸市

調査期間 平成 29 年 7 月 26 日～8 月 3 日

調査面積 128 m<sup>2</sup>

検出遺構 土坑 5 基

出土遺物 伊万里瓶



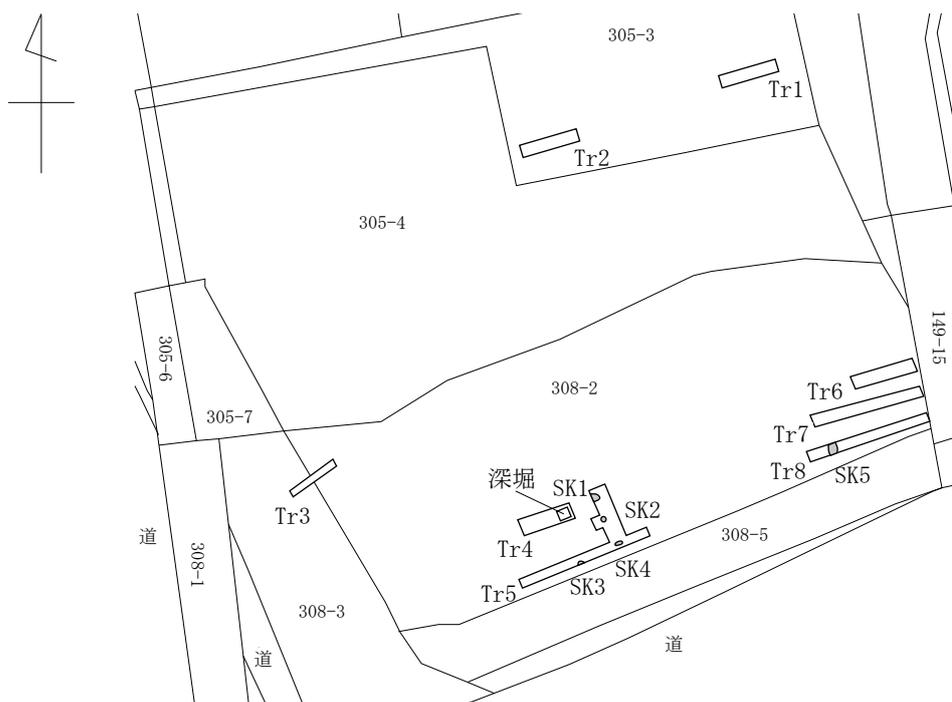
位置図 1:10,000

## 調査所見

駐車場整備に伴い調査を実施する。残存する江戸後期の絵図を現在の都市計画図に重ね、かつて建物跡が存在していた場所を中心にトレンチを設定した。

馬屋があった場所に設定したトレンチ 4、5 において、現況 GL より 55cm 下で礫が混じる暗褐色の硬化面を確認した。トレンチ 5 では、本層頂部で楕円形の掘り込みを 4 基、確認した。また、トレンチ 4 の攪乱を取り除いた下層より江戸後期の伊万里焼破片を 1 点、回収している。

遺構確認面より上は過去の工事による搬出土の堆積で、建材とともに近代陶磁器が混入していたが、江戸期の遺物は確認できなかった。



全体図 1:1,000



トレンチ (東より)



トレンチ (東より)



トレンチ (東より)  
白線は遺構プラン

## 試掘調査

# 小諸城跡②

所在地 小諸市古城一丁目 184-2、185-2、  
185-3、184-3、185-4

事業概要 個人住宅建設

開発者 個人

調査期間 平成 29 年 7 月 24 日

調査面積 8 m<sup>2</sup>

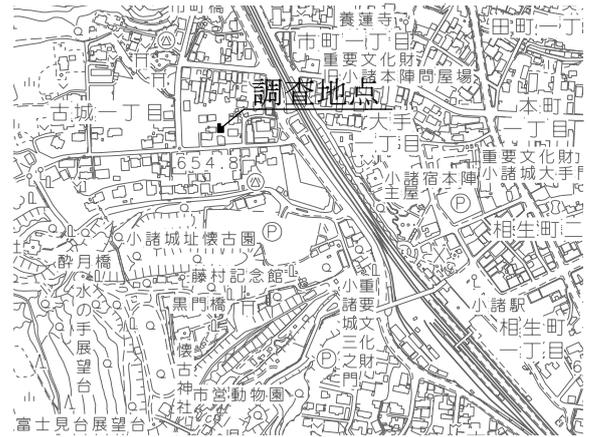
検出遺構 なし

出土遺物 なし

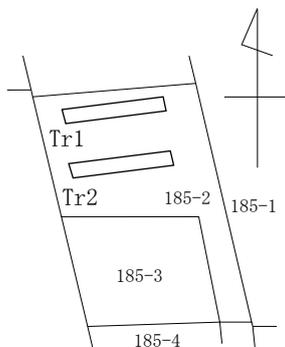
## 調査所見

個人住宅建設に伴い調査を実施する。トレンチは2本設定した。現況 GL より 60cm 下までは、暗褐色（10YR3/3）で、10cm から 50cm の大小様々な亜円礫が混ざる。建築部材も混じる。

トレンチ 1 では、暗褐色層の下で、黄褐色（10YR5/6）と暗褐色（10YR3/3）が混じる層が確認されたが、施工業者によると、かつて沢があったが埋めた経過があるとのこと。



位置図 1:10,000



全体図 1:500



トレンチ 1 (東より)



トレンチ 1 断面



トレンチ 2 (東より)



トレンチ 2 断面

## 試掘調査

# 深沢遺跡群①

所在地 小諸市大字滋野甲 191-2

事業概要 個人住宅建設

開発者 個人

調査期間 平成 29 年 6 月 28 日

調査面積 2 m<sup>2</sup>

検出遺構 なし

出土遺物 なし



位置図 1:10,000

## 調査所見

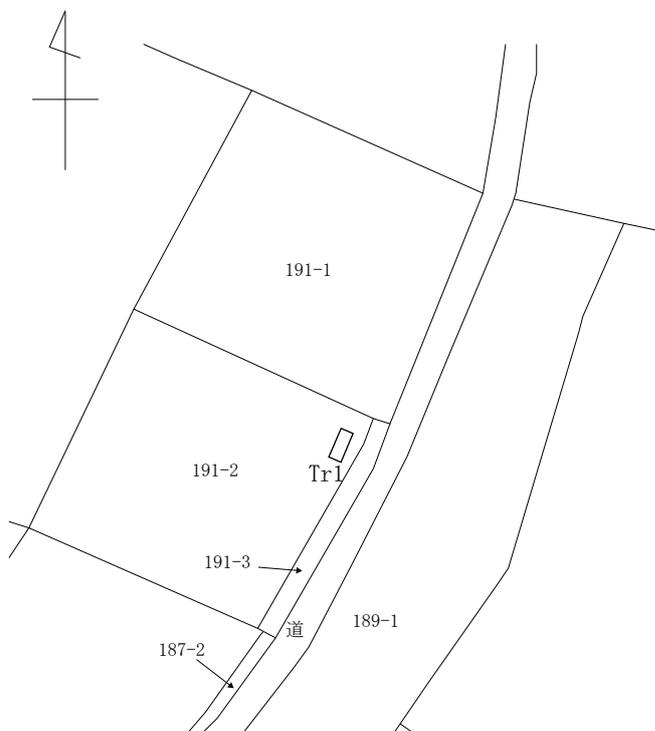
個人住宅浄化槽を対象に試掘調査を実施。基本層序は下記のとおり。

1層 極暗褐色 (7.5YR2/3)。

2層 暗褐色 (7.5YR3/4)。少量の 1.5cm から 2 cm 大の礫と 5 mm 大の礫を含む。し  
まり、粘性強い。

3層 褐色 (7.5YR4/3)。しまり、粘性強い。

遺構確認作業は3層頂部で行ったが、確認できなかった。遺物についても発見でき  
なかった。なお、3層は現況地表面より 55cm 下である。



全体図 1:500



トレンチ (南より)



トレンチ (東壁断面)

## 試掘調査

# 深沢遺跡群②

所在地 小諸市大字滋野甲 181-4  
事業概要 道路建設  
開発者 小諸市  
調査期間 平成30年2月27日～3月20日  
調査面積 67.16 m<sup>2</sup>  
検出遺構 竪穴住居址1軒、土坑2基  
出土遺物 土師器



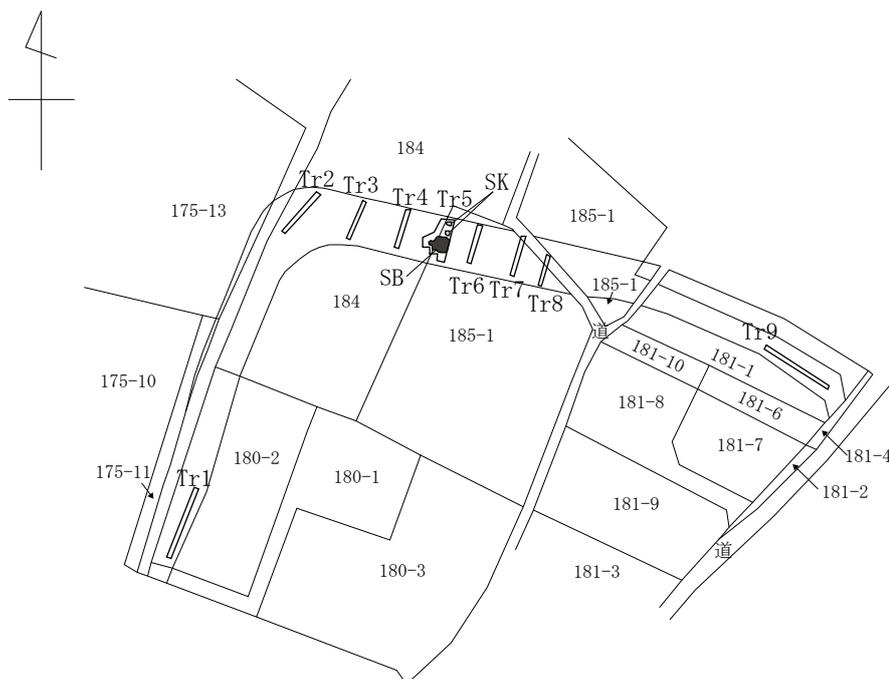
位置図 1:10,000

## 調査所見

道路の新設に伴う地下遺構の試掘確認調査のため工事計画範囲にトレンチを設定し、重機により掘り下げる。基本層序は下記のとおり。

- 1層 極暗褐色 (7.5YR2/3)。
- 2層 暗褐色 (7.5YR3/4)。少量の1.5cmから2cm大の礫と5mm大の礫を含む。しまり、粘性強い。
- 3層 褐色 (7.5YR4/3)。しまり、粘性強い。

遺構確認作業は3層頂部で行った。3層までは現況地表面より60cmから1m程度あり、トレンチ5で2基の土坑と1軒の竪穴住居址が検出された。竪穴住居址の埋土上面からは土師器の小破片が見つかった。



全体図 1:1,000



調査区（南西より）



トレンチ掘削状況



トレンチ 5 検出竪穴建物プラン